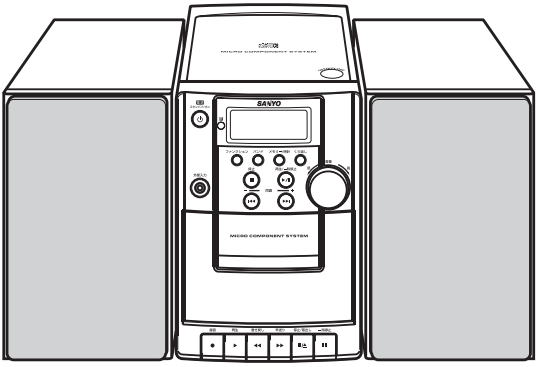
取扱説明書

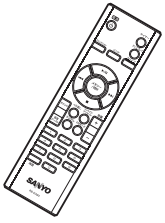
SANYO

マイクロコンポーネントシステム
品番 DC-DA84

保証書付 裏表紙にあります

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は保証書付になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。





COMPACT disc DIGITAL AUDIO
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

上記のマークのディスクを再生できます。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の( )内の記号が色記号です。

	もくじ	ページ
はじめに	安全上のご注意	2
	リモコンについて	7
	各部のなまえ	8
準備	接続する	10
	時計を合わせる	12
	共通の操作	13
聞きかた	CDを聞く	15
	カセットテープを再生・録音する前に	21
	カセットテープを聞く	22
	他の機器を接続して使う	23
	ラジオを聞く前に	24
	ラジオを聞く	25
	タイマーを使う	27
録音	カセットテープに録音する	31
参考	お手入れ	33
	故障？ その前にちょっとこれを	34
	保証書とアフターサービス	35
	お客さまご相談窓口	36
	仕様	40
	無料修理規定	43

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源(⏻)ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする(異常状態)
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- 本機の内部に水などが入った
- 異物が本機の内部に入った
- 音が出ないなど(故障状態)
- 倒したり落としたりして、キャビネットを破損した

⚠ 警告

電源について

■電源コード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。

■電源コードを傷つけない

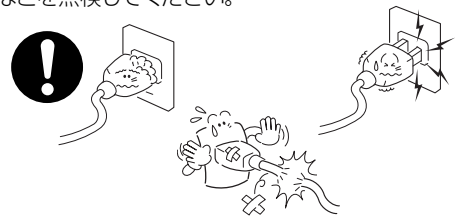
無理な使いかたをするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

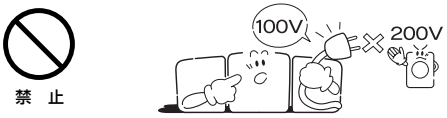
■定期的に点検を

設置時から1年に1度は電源コンセントと電源プラグの間にホコリが付着していないか、電源コードに傷みがないか、電源プラグが抜けかけていないかなどを点検してください。



■電源電圧100V以外や国外では使用しない

表示された電源電圧（AC 100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
また、本機をAC電源で使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



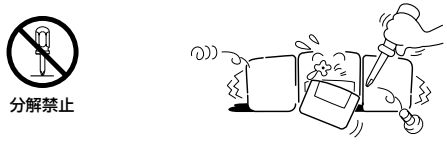
■雷が鳴り出したら

電源プラグやアンテナには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

使用方法・設置

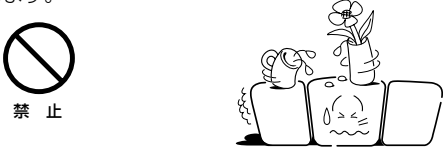
■分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



■本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。



⚠ 警告

■ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

水ぬれ禁止

■異物を入れない

通風孔、ディスクやカセット挿入口などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。(特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。)火災、感電の原因となります。

禁 止

■ヘッドホンやイヤホンの音量に注意

禁 止

耳を刺激するような大音量での長期間の使用はしない。聴力が大きく損なわれる原因になります。

■通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部や底部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

禁 止

■壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。

ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁 止

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときの注意

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁 止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■本機の上に重いものを置かない

禁 止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、**本機やスピーカーの上に乗らないでください。**(特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。)

⚠ 注意

■設置場所に注意

- じゅうたんやたたみ、塩化ビニール製の床材や家具などの上に設置するときは、下に板などを敷いてください。直接置くと床面が変色することがあります。

禁 止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■スピーカーケーブルは固定する

スピーカーのケーブルに足や手を引っかけると、スピーカーが倒れたり、落下して、けがや故障の原因となります。

■本機やスピーカーを不安定な場所に置かない

禁 止

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。

■ディスクやカセット挿入口に手を入れない

指をはさまれないよう注意

けがの原因となることがあります。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）

■持ち運びの注意

電源プラグを抜く

- ディスクを取り出してください。
電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、外部接続をすべて外してから持ち運びしてください。接続したまま持ち運びするとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■他のスピーカーは接続しない

禁 止

付属のスピーカー以外を接続すると、極端に音量が大きくなったり、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■スピーカーの前に割れやすいものなどを置かない

禁 止

スピーカーからの空気圧により倒れたり、落下して、故障やけがの原因となることがあります。

■変形やひび割れしたディスクは使用しない

禁 止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■音量に注意

- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

禁 止

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■他機器との接続について

オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

■クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

禁止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■電磁波の発生する機器に近づけない

禁止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけないでください。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■長期間(1ヶ月以上)使用しない場合やお手入れの際の注意

電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■乾電池(リモコン用)使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 指定以外の乾電池は使用しない。
- 極性(⊕と⊖)に注意し、表示通りに入れる。

禁止

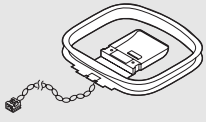
- 種類の異なるものや、新旧の乾電池を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。

- 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品

＊AMループアンテナ



FM用簡易型アンテナ

リモコン
RB-DA84

単4形乾電池
(リモコン用)2本

スピーカー 2
本書(取扱説明書・保証書付) 1

＊ AMループアンテナの形状が本取扱説明書と異なっている場合がありますが、接続方法や性能は変わりません。

著作権について

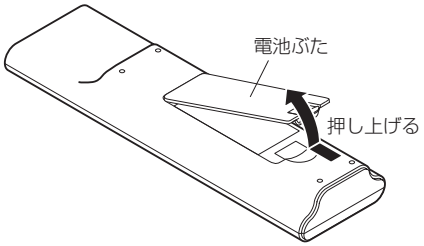
- 放送やMD、DVD、CD、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。また、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)におたずねください。

JASRAC本部:TEL. 03-3481-2121
FAX. 03-3481-2150
URL http://www.jasrac.or.jp/

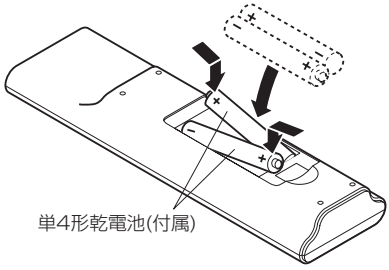
リモコンについて

乾電池の入れかた

1 電池ぶたを開ける



2 単4形乾電池(付属)2本を、極性⊕⊖を正しく入れて、電池ぶたを閉める



付属の乾電池について

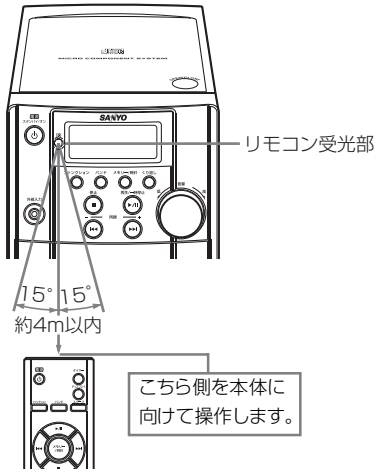
- 付属の乾電池はモニター用です。寿命が短いことがありますがご了承ください。

乾電池の交換について

- 乾電池の寿命は、使い方にもよりますが、約1年をめやすに2本同時に同種類の乾電池と交換してください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)にしたがって処理してください。

リモコンの使える範囲

リモコン受光部から水平左右15度、垂直上下15度、直線距離約4mまでの範囲です。それ以外の範囲ではリモコン操作できないことがあります。



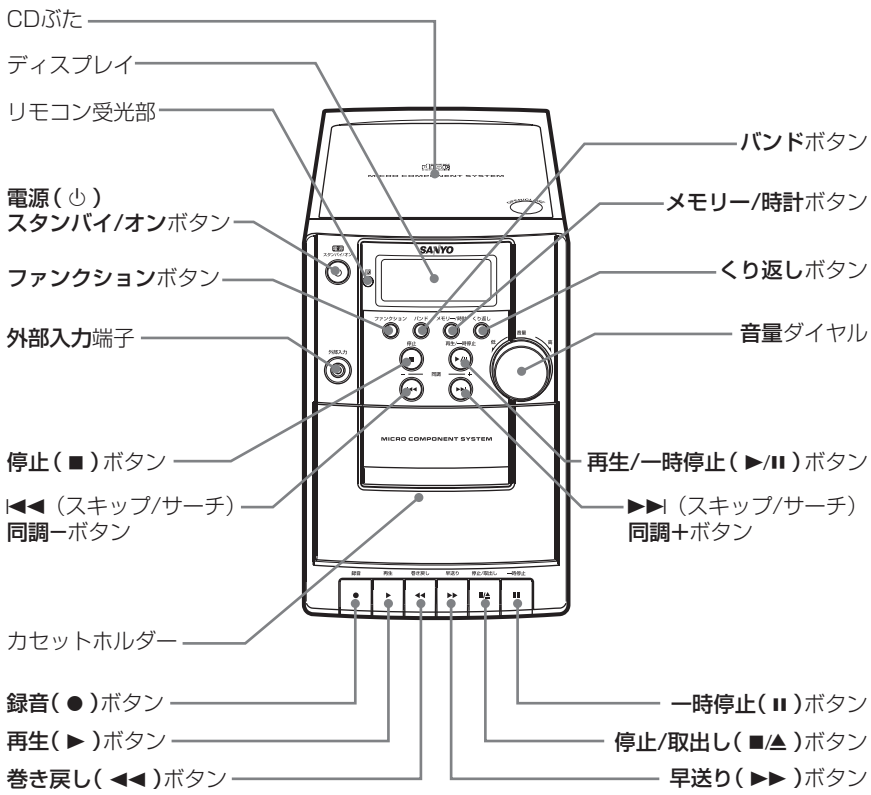
- リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモコンの乾電池が消耗するとリモコンを操作しても動作しなくなりますので、2本とも新しい乾電池に交換してください。
- リモコンでテープの操作はできません。本体で操作してください。
- 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは、強い光が当たると正常に動作しないことがあります。

各部のなまえ

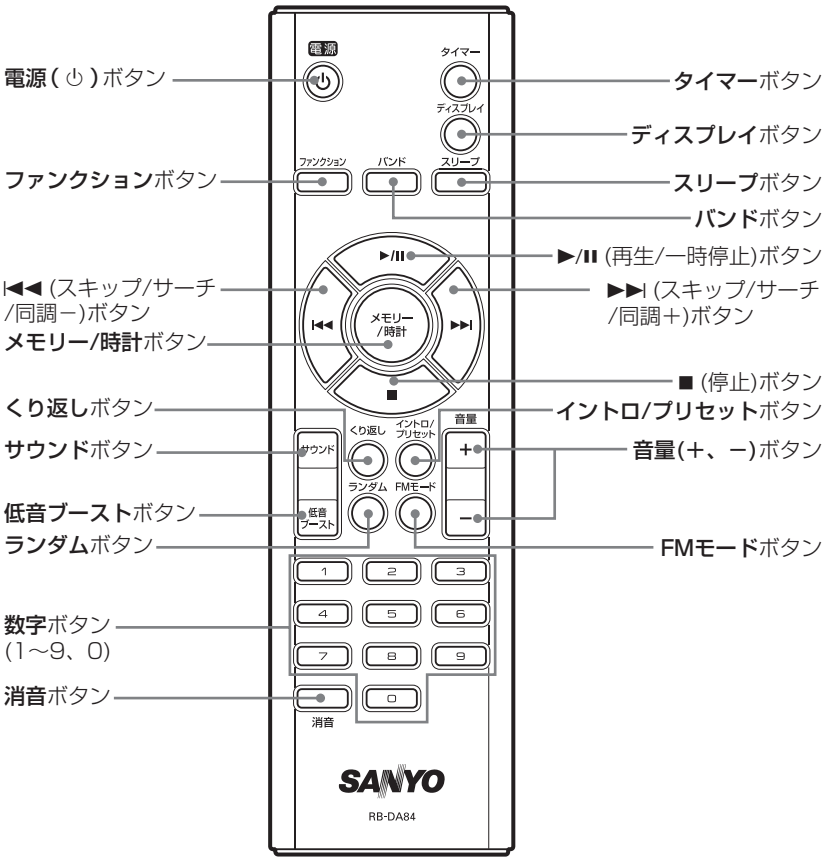
本取扱説明書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています

- リモコンと同じまたは似たなまえの本体のボタンは、操作のしかたも同じです。
- 表示例として使用している表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

本　体



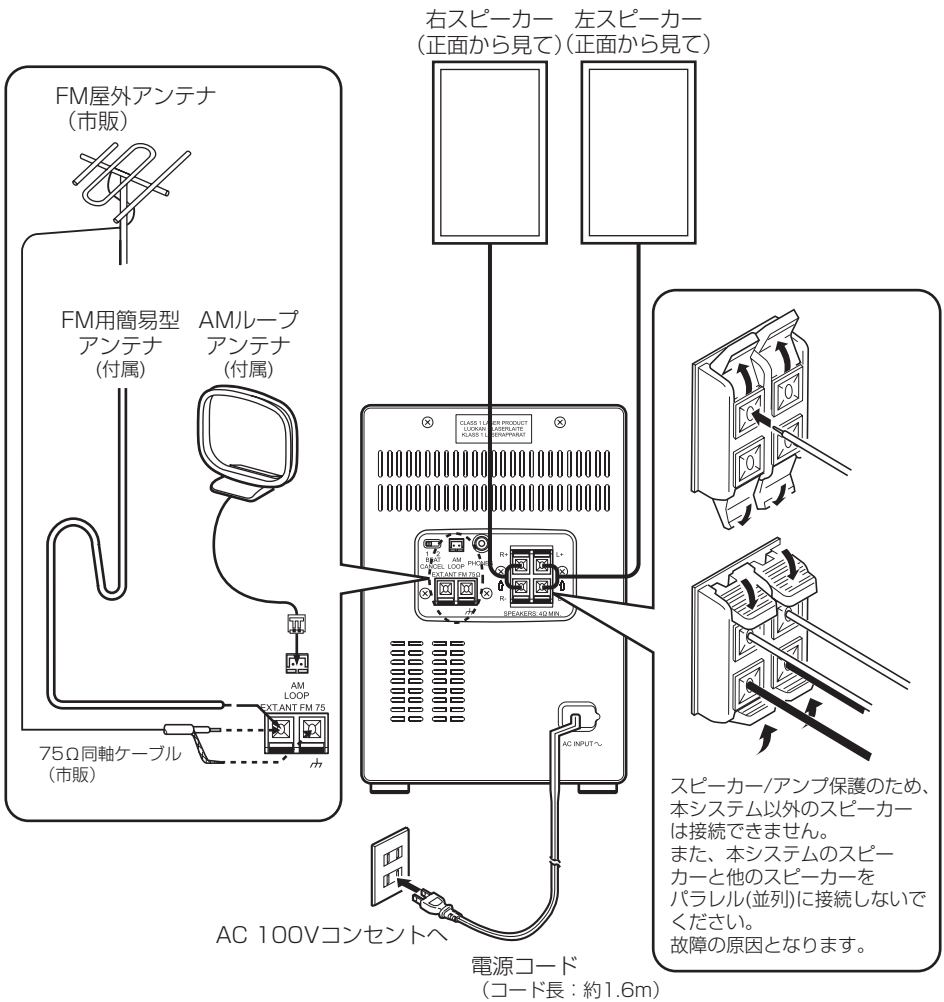
リモコン


電源(⏻)ボタン
ファンクションボタン
|◀◀ (スキップ/サーチ/同調−)ボタン
メモリー/時計ボタン
くり返しボタン
サウンドボタン
低音ブーストボタン
ランダムボタン
数字ボタン (1〜9、0)
消音ボタン
タイマーボタン
ディスプレイボタン
スリープボタン
バンドボタン
▶/II (再生/一時停止)ボタン
▶▶| (スキップ/サーチ/同調+)ボタン
■ (停止)ボタン
イントロ/プリセットボタン
音量(+、−)ボタン
FMモードボタン
電源
タイマー
ディスプレイ
ファンクション
バンド
スリープ
メモリー/時計
くり返し
イントロ/プリセット
音量
サウンド
低音ブースト
ランダム
FMモード
消音
SANYO
RB-DA84

接続する

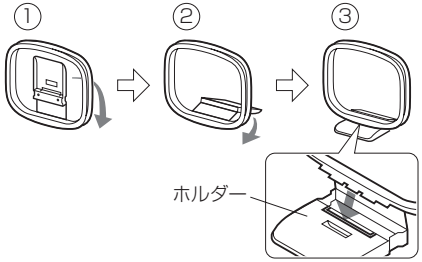
接続時の注意

- 接続するときは、本機の電源プラグがコンセントに差し込まれていない状態でおこなってください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってから最後に接続してください。
- 本機の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、接続している機器の電源を切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。
- 本機のスピーカーネットは取り外しできません。また、2つあるスピーカーは、同じものですので左右どちらに接続しても構いません。
- スピーカーリード線をショートすると本機が壊れることがあります。
- 電源コードを抜き差しするときは、本体の電源を切ってからおこなってください。先に電源を切らないと、ディスクに傷がついたり故障の原因となります。



AMループアンテナについて

図のように組み立てます。



アンテナを組み立て、AM放送が良く受信できる水平な場所に置くか、またはアンテナホルダーを壁などに取り付けてご使用ください。取り付けには市販の木ネジをご用意ください。

ちょっとこれを！

- AMループアンテナを本機やテレビなどの機器に近づけると、雑音が入りますので、できるだけ離してご使用ください。
- 鉄筋コンクリート造りの建物では、良好な受信ができない場合があります。

FMアンテナについて

付属の簡易型アンテナ

アンテナをできるだけまっすぐに伸ばして、雑音が少なく最もよく聞こえる方向に向け、テープなどで壁に留めます。

市販の屋外アンテナ

付属の簡易型アンテナでは雑音が入り聞きづらいときには、簡易型アンテナをはずし屋外アンテナを接続してください。

屋外アンテナの選びかたや設置、接続については、お買い上げの販売店にご相談ください。

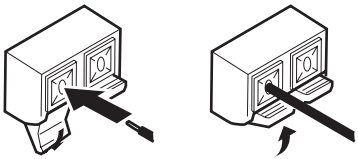
アンテナ端子への接続のしかた

付属のAMループアンテナ

本体背面の**AM LOOP**端子に接続します。

付属のFM用簡易型アンテナ

本体背面の**EXT.ANT FM 75Ω**端子に接続します。



ご注意

- 接続コードはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音や誤動作の原因になります。
- AMループアンテナやFM用簡易型アンテナのコードは電源コード、スピーカーコードやテレビ、パソコンなどから、できるだけ離してください。
- 本機とテレビを近づけて設置すると、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。また、近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

他の機器を接続する

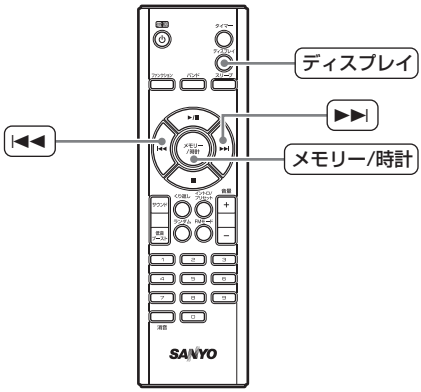
前面の外部入力端子に接続する

ビデオデッキやDVDプレーヤー等の外部機器の音声出力端子からオーディオケーブル（市販）を使ってVIDEO（AUDIO）端子に接続します。
詳しくは接続する各外部機器の取扱説明書をご覧ください。

時計を合わせる

ACコンセントに電源コードを差し込むと、時刻を合わせるまでは時計表示が点滅します。この状態で、現在時刻を合わせてください。時刻合わせは電源を切った状態でおこないます。タイマー演奏・録音などのタイマー機能を使うため、最初に時刻を合わせておいてください。

(例)「18時30分(午後6時30分)」に合わせる



1 電源が切れた状態で、メモリー/時計ボタンを約3秒以上押す

ディスプレイの「時」表示が点滅します。

2 |◀◀ または ▶▶| ボタンを押して、時間を「18」に合わせる

3 メモリー/時計ボタンを押す

ディスプレイの「分」表示が点滅します。

4 |◀◀ または ▶▶| ボタンを押して、分を「30」に合わせる

5 メモリー/時計ボタンを押す

時計が動きだします。

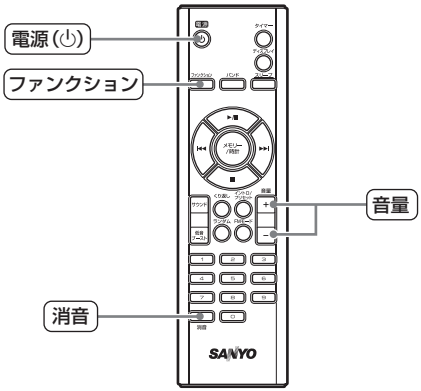
- 時報(「117」に電話)に合わせて押すと、時刻を正確に合わせることができます。

ちょっとこれを!

- 時刻を設定した後に時計表示が「00:00」で点滅表示しているときは、停電や電源コードの抜き差しにより、時計が止まっていたことを示します。もう一度時刻を合わせてください。
- 長時間使用していると、時刻表示がずれることがあります。その時は、再度正しい時刻に設定しなおしてください。
- 設定した時刻を変更したい場合は、上記操作と同様の操作をおこなってください。
- 他の操作(CD演奏やテープ演奏、ラジオ)中に時刻を確認するには、**ディスプレイ**ボタンを押してください。もう一度押す、または数秒後、もとの画面に戻ります。ただし、時刻を設定していない場合は時刻を確認することはできません。
- 本機の時計は24時間表示です。
- 時刻合わせのとき、約10秒ほど放置すると時刻表示に戻ります。時刻が正しくセットされなかった時は、再度、時刻を合わせなおしてください。

共通の操作

つづく



電源を入れる／切るには

電源(⏻)ボタンを押す

電源が入り、ディスプレイが点灯します。

- ディスプレイに「HELLO」が表示されます。
- ファンクションは電源を切る前のファンクションになります。

もう一度電源(⏻)ボタンを押すと電源が切れる

時計表示に切り替わります。

- ディスプレイに「GOOD BYE」が表示されます。

ちょっとこれを！

- ファンクションや音量、音質、重低音などの各種設定内容は、電源を切る前の設定が保持されます。
  ただし、タイマー動作後は、タイマー動作のファンクションと音量に設定されます。
- 録音レベルは自動的に適正なレベルに調整されますので、音量や音質、重低音などの各種設定内容は録音には影響しません。

ファンクション(音源)を切り換える

ファンクションボタンを押して希望のファンクションを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

CD ⟶ TUNER ⟶ TAPE ⟶ LINE IN

ちょっとこれを！

- ファンクションが切り換わると、CD演奏は自動的に停止します。

音量を調節する

音量＋または－ボタンを押す

- 本体で操作するときは、**音量**ダイヤルを回します。

ディスプレイに音量レベル(VOL MIN、01～30、MAX)が表示されます。

一時的に音を消すには

消音ボタンを押す

ディスプレイに「MUTE」表示が点灯します。

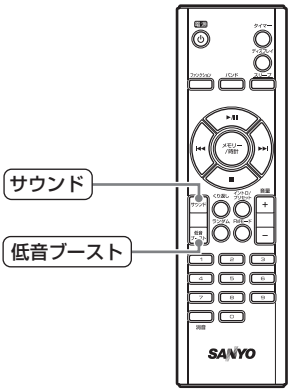
もう一度押すと表示が消え、もとの音量に戻ります。

ご注意

- CDはノイズが少なく、レコードやカセットテープのようにノイズを聞きながら音量を調節しますと、思わぬ大音量になることがありますので、ご注意ください。特にヘッドホンでお聞きの場合、耳をいためることがありますので、ご注意ください。

ちょっとこれを！

- 電源コードを接続し、最初に電源を入れたときの音量は、自動的に「VOL 13」にセットされます。



重低音を楽しむ

低音ブーストボタンを押す

ディスプレイに「BASS」表示が点灯し、重低音が強調されます。

もう一度押すと表示が消え、もとの音質に戻ります。

お好みの音質で聞く

サウンドボタンを押して音楽に合った音質を選ぶ

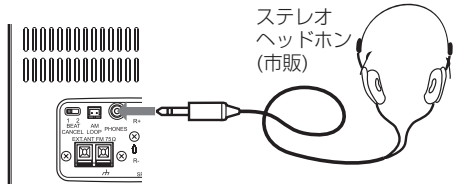
ディスプレイに現在の設定を表示します。
押すたびに、以下のように切り換わります。

FLAT(表示無し) → ROCK → POP → JAZZ → CLASSIC → FLAT(表示無し)

FLAT(表示無し) . フラット(直線)な特性になります。
ROCK ..... 低音域を強調し、高音域をやや強調します。
POP ..... 低音域をやや強調し、高音域を強調します。
JAZZ ..... 高音域を強調します。
CLASSIC ..... 高音域をやや強調します。

ヘッドホンで聞く

ミニプラグ付のステレオヘッドホン(市販)を背面のPHONES端子に接続する



- ミニプラグ(φ3.5)付のステレオヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

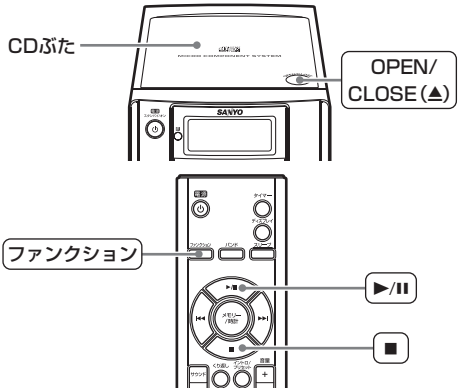
- ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大きな音量で長時間お聞きにならないようにしてください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

CDを聞く

つづく

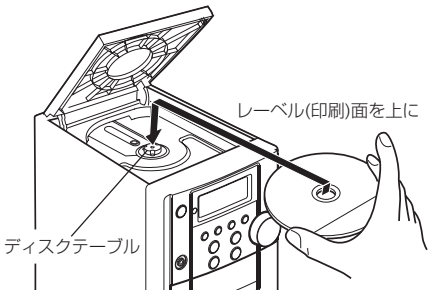


1 ファンクションボタンを押して「CD」ファンクションを選ぶ

2 CDぶたを開ける

本体CDぶたの「OPEN/CLOSE(▲)」部を押してください。

3 CDを入れる



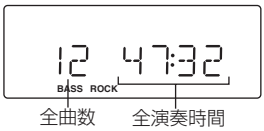
- 一度に2枚以上のCDを入れることはできません。

※ CDについては P16、20 を参照してください。

4 CDぶたを閉める

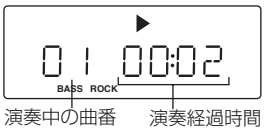
本体CDぶたの「OPEN/CLOSE(▲)」部を押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。

ディスプレイに「READ」を点滅表示した後、CDの内容を表示します。



5 ▶/II ボタンを押す

ディスプレイに「▶」を表示し、曲番1から演奏が始まります。



最後の曲が終わると自動的に止まり、ディスプレイにそのCDに入っている全曲数と全演奏時間を表示します。

ご注意

- 演奏中に本機を動かしたり、CDぶたを開けないでください。CDを傷つけてしまうことがあります。
- CDぶたを上から強く押したり、CD以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- CDぶたの上に物を置かないでください。CDぶたが開くときに、物が倒れて破損やけがの原因となります。また、CDぶたの故障の原因となります。

演奏を途中で止めるには

■ ボタンを押す

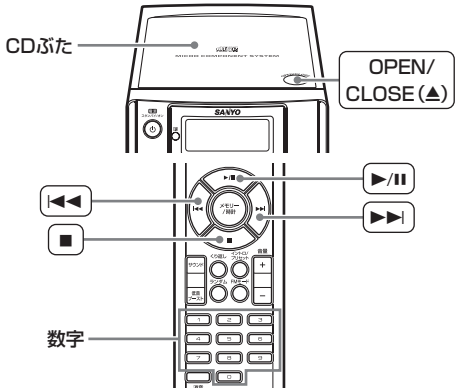
演奏を一時的に止めるには

演奏中に ▶/II ボタンを押す

ディスプレイに「II」が表示され、演奏経過時間が点滅します。

もう一度押すと再び演奏が始まります。

CDを聞く



CDを取り出すには

■ボタンを押してCDの回転が停止してから、CDぶたの「OPEN/CLOSE(▲)」部を押す

ご注意

- 演奏中にCDぶたを直接開けないでください。CDの回転がすぐには止まらず、CDやレンズに傷をつけてしまうことがあります。

ちょっとこれを！

ロゴマークの入ったCDをご使用ください。

- CDが正しい位置にのっていないと、CDに傷をつけたり故障の原因となります。
- CDの裏表を逆に入れると「NO DISC」を表示し、演奏できません。
- CDに傷、指紋、ほこりがついていると、演奏できないことがあります。
- **CD-R/RWディスクについて**
  本機はCD-DA※フォーマットで記録されたCD-R/RWディスクを演奏することができますが、録音された環境や内容によっては演奏できないこともあります。
  未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。
  ※ CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格です。
- 本機ではCD-R/RWディスクに録音することはできません。
- MP3またはWMAファイル形式のディスクは演奏できません。
- VCD(ビデオCD)は演奏できません。

聞きたい曲から聞く

リモコン・本体

停止状態から |◀◀ または ▶▶| ボタンで希望の曲番を選び、▶/II ボタンを押す

リモコンのみ

停止状態から数字ボタンで希望の曲番を選ぶ

例：曲番06を選ぶとき･･･ 0→6 の順に押す。
　　曲番12を選ぶとき･･･ 1→2 の順に押す。

早送り、早戻し(サーチ)

演奏または一時停止中に |◀◀ または ▶▶| ボタンを押し続け、希望のところで指を離す

ちょっとこれを！

- 一時停止中にサーチした場合は、サーチ後、一時停止状態になります。また、演奏音は聞こえません。
- ▶▶| ボタンを押し続けると、最終曲の最後で止まります。また、|◀◀ ボタンを押し続けると、最初の曲の頭から演奏が始まります。

曲の頭出し(スキップ)

リモコン・本体

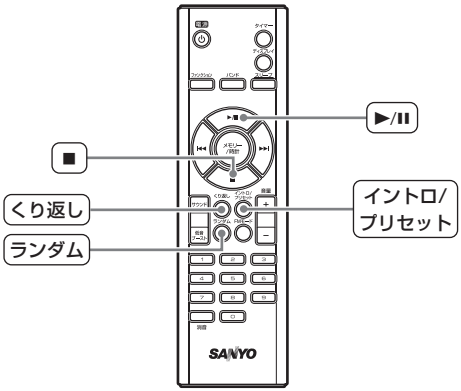
演奏または一時停止中に |◀◀ または ▶▶| ボタンを短くポンポンと押す

リモコンのみ

演奏または一時停止中に数字ボタンで希望の曲番を選ぶ

ちょっとこれを！

- 一時停止中にスキップした場合は、スキップ後、一時停止状態になります。ただし、**数字**ボタンで曲番を選んだ場合はすぐに演奏が始まります。
- プログラム演奏中に |◀◀ または ▶▶| ボタンを押すと、プログラム順にスキップします。
- スキップ中は、演奏音は聞こえません。
- 最終曲を選択中に ▶▶| ボタンを押すと、最初の曲に戻ります。また、最初の曲を選択中に |◀◀ ボタンを押すと、最終曲が選択されます。



演奏をくり返す(リピート演奏)

くり返しボタンを押す

CDの中の1曲だけ、または全曲をくり返し演奏します。

1曲だけをくり返し演奏するには

くり返しボタンを1度押す

ディスプレイに「REPEAT」表示が点灯します。

全曲をくり返し演奏するには

くり返しボタンを2度押す

ディスプレイに「REPEAT ALL」表示が点灯します。

- 演奏前にくり返しを選んだときは、►/II ボタンを押して演奏を始めます。
- 解除するには**くり返し**ボタンを一度または二度押し、「REPEAT」または「REPEAT ALL」表示を消します。停止中に ■ ボタンを押してもリピートは解除されます。

順不同に聞く(ランダム演奏)

自動的に曲順を選択して、ランダムに演奏します。

ランダムボタンを押す

ディスプレイに「RANDOM」表示が点灯し、順不同に演奏が始まります。

もう一度押すと「RANDOM」表示が消え、通常演奏に切り換わります。

- ■ ボタンを押して演奏を停止すると、ランダム演奏は解除されます。
- くり返し設定中に**ランダム**ボタンを押すと、自動的にくり返し設定を解除します。

曲のイントロ部分を演奏する(イントロ演奏)

自動的に曲のイントロ部分を、約10秒ずつ順に演奏します。聴きたい曲を探すときなどに便利です。

イントロ/プリセットボタンを押す

ディスプレイに「INTRO」と「►」を表示し、曲番1から順にイントロ演奏が始まります。

もう一度押すと「INTRO」表示が消え、イントロ演奏中以降の曲を通常演奏します。

- ■ ボタンを押してイントロ演奏を停止すると、イントロ演奏は解除されます。
- くり返し設定中に**イントロ/プリセット**ボタンを押すと、自動的にくり返し設定を解除します。

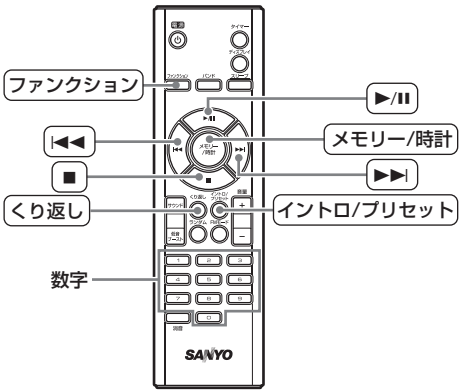
ちょっとこれを!

- CDを交換したときやファンクションの切り換え、電源を切/入したときは、リピート演奏とランダム演奏、イントロ演奏は取り消されます。

CDを聞く

お好みの曲を選んで聞く(プログラム演奏)

好みの曲を32ステップまで選んで演奏することができます。



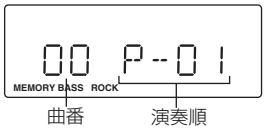
例えば次のようにプログラムする場合…

演奏順(ステップ)	曲番(トラックナンバー)
1番目	曲番06
2番目	曲番02

1 ファンクションボタンを押して「CD」ファンクションを選び、CDを入れる

- ディスプレイに全曲数と全演奏時間を表示していることを確認します。

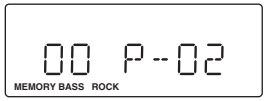
2 メモリー/時計ボタンを押す



3 数字ボタンを0→6の順に押して、曲番「06」を選ぶ

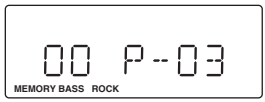
- |◄◄ または ►►| ボタンをくり返し押して、曲番を選ぶこともできます。

4 メモリー/時計ボタンを押す



5 数字ボタンを0→2の順に押して、曲番「02」を選ぶ

6 メモリー/時計ボタンを押す



7 ►/II ボタンを押す

ディスプレイに「►」を表示し、プログラム演奏が始まります。

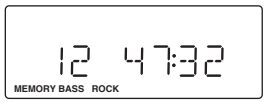
プログラムした曲がすべて演奏されると停止します。

- 「MEMORY」表示が消え、全曲数と全演奏時間を表示します。ただし、設定したプログラムは記録されています。

プログラム演奏を途中で止めるには

■ ボタンを押す

「MEMORY」表示が点灯したまま、停止します。設定したプログラムは記録されています。



ちょっとこれを！

- 32番目までプログラムすると、1番目の表示に戻ります。33番目以上をプログラムすることはできません。
- 演奏中やCDを入れていない状態ではプログラム予約できません。

プログラム演奏を再開するには

1 プログラム停止時に、メモリー/時計ボタンを押して「MEMORY」を表示させる

- ディスプレイに「MEMORY」表示が点灯している場合は、操作**2**に進みます。

2 「MEMORY」表示中に ►/II ボタンを押す

ディスプレイに「►」を表示し、プログラム演奏が始まります。

プログラムを確認するには

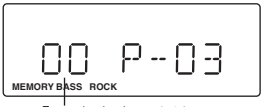
プログラム停止時に、メモリー/時計ボタンを押す

- 押すたびに、プログラムした内容を順に表示します。

プログラムの最後に曲を追加するには

1 プログラム停止時に、メモリー/時計ボタンをくり返し押し、「00」を表示させる

- 32ステップまでプログラムしている場合は、「00」は表示されず、曲の追加はできません。



「00」を表示させる

2 数字ボタンで追加したい曲番を選び、メモリー/時計ボタンを押す

ご注意

- プログラムした曲と曲との間に新しい曲を追加したり、削除することはできません。

プログラムを変更するには

1 プログラム停止時に、メモリー/時計ボタンをくり返し押し、変更したい曲番を表示させる

2 数字ボタンで新しい曲番を選び、メモリー/時計ボタンを押す

プログラムを取り消すには

1 プログラム停止時に、メモリー/時計ボタンを押す

2 プログラム内容表示中に、■ ボタンを押す

「MEMORY」表示が消え、全曲数と全演奏時間を表示します。

ちょっとこれを！

- CDを交換したときやファンクションの切り換え、電源を切/入したときもプログラムは取り消されます。

プログラムをくり返し演奏するには

プログラム演奏中の1曲またはプログラムした全曲をくり返し演奏することができます。

プログラム演奏中に、くり返しボタンを押す

- 詳しくは、「演奏をくり返す（リピート演奏）」P17 をご覧ください。

プログラムをイントロ演奏するには

プログラムした曲をイントロ演奏することができます。

プログラム停止時に、イントロ/プリセットボタンを押す

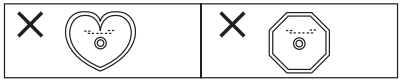
- 詳しくは、「曲のイントロ部分を演奏する（イントロ演奏）」P17 をご覧ください。

CDを聞く

CDについてのご注意

- CDに紙やシールを貼らないでください。
  また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるCDは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

(特殊形状CDの例)

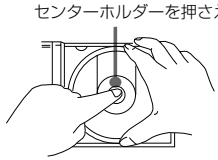


- 市販のCDスタビライザは使用できません。
- こんなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。
  - ◆ 本機に強い衝撃を与えたとき。
  - ◆ 薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。
  - ◆ CDの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。
- **コピーガード付きCD再生について**
  CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証は致しかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク(P16 “ちょっとこれを!”参照)」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するCDであることをお確かめください。
  なお、CD規格に準拠しないCD再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはCDの発売元にお問い合わせください。

CDの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

出し方



入れ方

ディスクの取扱いかた

- 演奏面には手を触れないでください。

CDの保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- CDは必ずケースに入れて保管してください。

本機を持ち運びするときは

- CDを必ず取り出してください。
  入れたまま持ち運びすると、CDに傷をつけたり、故障の原因になります。

CDのお手入れのしかた

- CDについた指紋やほこりなどのよごれは、音質低下の原因となります。柔らかい布で、CDの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどい場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭き取ったあと、乾いた布でカラ拭きしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

カセットテープを再生・録音する前に

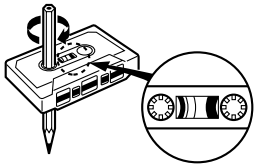
お使いになるカセットテープについて

ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)をご使用ください。

- ハイポジション(TYPE Ⅱ)やメタル(TYPE Ⅳ)テープは再生できますがその特性を活かすことはできません、また、録音すると正しく録音・消去できませんのでご注意ください。
- 100分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、回転部に巻き込んだり、テープ走行が不安定になることがありますのでご使用にならないでください。
- エンドレステープは使用できません。

テープにたるみがあるときは…

たるみのあるテープは傷ついたり、切れる原因になります。また、巻き込んだりして故障の原因になります。テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。



- テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。
- リーダーテープ部を巻き取るときは、矢印方向に回してください。逆に回すと巻き込みの原因になります。

オートストップについて

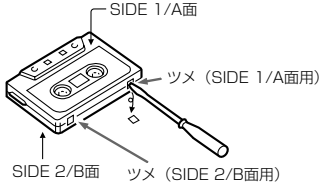
本機はオートストップ機構をそなえておりますので、再生、録音中にテープが全部巻き取られると自動的にボタンが復帰して停止します。

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを確認してください。

録音したテープを誤って消さないために

カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。



誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさぐと録音できるテープに復元します。

自動録音レベル調整について

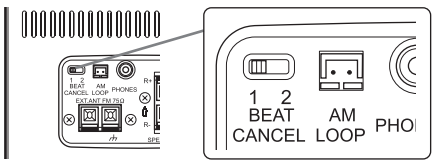
本機には**ALC**(Automatic Level Control:自動録音レベル調整のこと)回路が内蔵されていますので、自動的に適正なレベルで録音されます。
音量を調整したり、**サウンド**ボタンや**低音ブースト**ボタンで設定を切り換えても録音には影響しません。

カセットテープの保管について

ご使用後は所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、チリ、ホコリの多い場所やカビの発生しやすい場所はさけて保管してください。

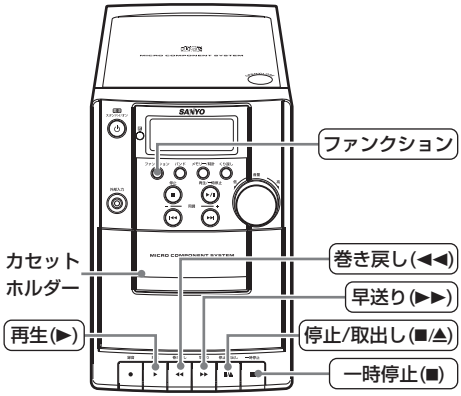
録音中にビート音がでるときは

ラジオを録音中、ビート音(「ピー」という音)がでることがあります。
その場合には背面の**BEAT CANCEL**スイッチをビート音が小さくなる位置(1または2)に切り換えてください。



聞きかた

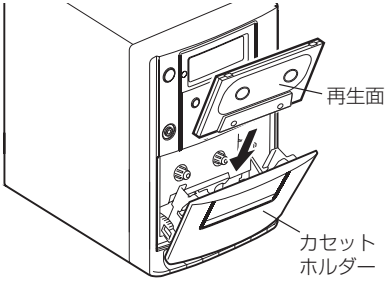
カセットテープを聞く



この操作は本体でおこないます。

1 ファンクションボタンを押して「TAPE」ファンクションを選ぶ

2 停止/取出し(■/▲)ボタンを押してカセットホルダーを開け、テープを入れる



テープの入れかた

再生(または録音)する面を手前に向け、テープの露出している方を下側に、巻き取られている方を左にして入れます。

- テープのたるみがないことを確認してからカセットテープを入れてください。
- 録音するときは、頭切れをなくすため、あらかじめリーダーテープ部を巻き取っておいてください。

P21

3 カセットホルダーを閉める

カセットホルダーはカチッと音がするまで確実に閉めてください。

4 再生(▶)ボタンを押す

再生が始まります。

再生を途中で止めるには

停止/取出し(■/▲)ボタンを押す

もう一度押すとカセットホルダーが開きます。

ご注意

- 再生中に本機を動かしたりしないでください。テープを傷めたり、故障の原因となります。
- カセットホルダーが完全に開いてから、テープを取り出してください。

一時停止する

再生中に一時停止(❚❚)ボタンを押す

もう一度押すと再び再生が始まります。

早送り、巻戻し

停止時に早送り(▶▶)または巻き戻し(◀◀)ボタンを押す

お望みのところまで巻き取った後、**停止/取出し**(■/▲)ボタンを押します。

- 早送り・巻戻し中はテープが全部巻き取られても、ボタンは自動的に復帰しません。**停止/取出し**(■/▲)ボタンを押してください。

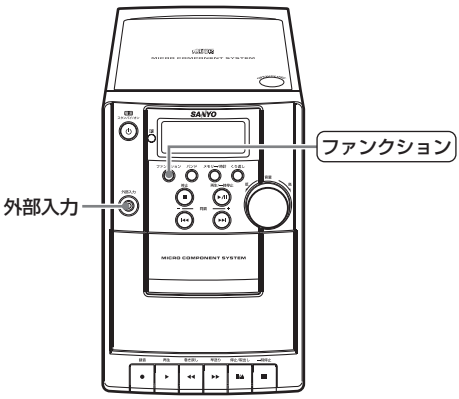
ちょっとこれを!

- 再生中や録音中に**早送り**(▶▶)または**巻戻し**(◀◀)ボタンを押した場合、すぐに早送り/巻き戻し機能に切り換わります。

他の機器を接続して使う

ビデオ・DVD・MDなどの音声を聞く

本機に接続したビデオデッキやMDプレーヤーなどの音声を、本機のスピーカーで楽しむことができます。



この操作は外部機器の音声を再生するときの基本操作です。

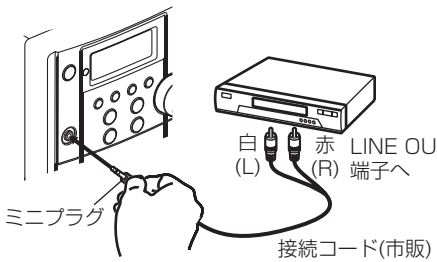
ご注意

- 本機および接続する各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続コードはしっかり差し込んでください。
- 接続コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

この操作は本体でおこないます。

1 外部入力端子に他の機器を接続する

- 市販の接続コードや接続プラグの種類は接続する機器に合わせてご用意ください。
- 詳しくは接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。



2 電源を入れた後、ファンクションボタンを押して「LINE IN」ファンクションを選ぶ

3 本機に接続した機器側(再生機器)で再生操作をする

本機のスピーカーから外部機器の音声が聞こえます。

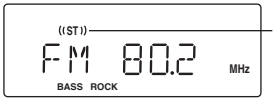
- 音量は自動調整されませんので、本機および再生機器で調整してください。

聞きかた

ラジオを聞く前に

FMステレオ放送の受信について

FMモードボタンを押すたびに、ステレオモード（「ＳＴＥＲＥＯ」表示が点灯）とモノラルモード（「MONO」表示が点灯）が交互に変わります。
ステレオモード時にFMステレオ放送を受信すると、自動的にステレオになり、「((ST))」表示が点灯します。



- 受信状態が悪いときは、ステレオにならないことがあります（「((ST))」表示が消灯）。この場合はモノラルモードにすると、ステレオになりませんが聞きやすくなります。
- AMステレオ放送、FM文字放送には対応していません。

よりよい受信をするために

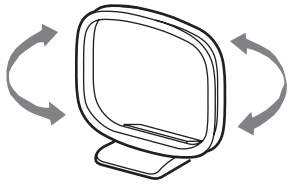
アンテナを調節してください。

■ FM放送のとき

FM用簡易型アンテナの位置を変え、もっともよく聞こえるようにします。付属の簡易型アンテナでは雑音が入り聞きづらいときには、簡易型アンテナをはずし屋外アンテナを接続してください。P10、11

■ AM放送のとき

AMループアンテナを本機から離し、アンテナの向きを変えて、もっともよく聞こえるようにします。

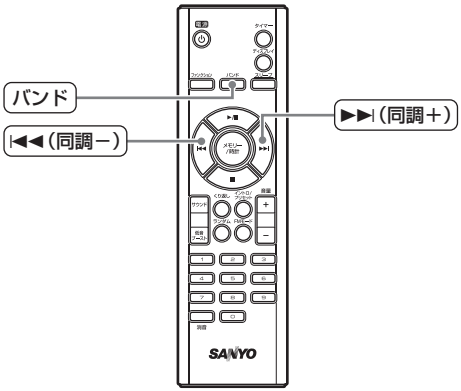


ちょっとこれを！

- 近くに置いたテレビや携帯電話から本機のラジオに雑音が入る場合は、本機をテレビや携帯電話から離してご使用ください。
- 受信状態は本機の設置場所によって変わります。

ラジオを聞く

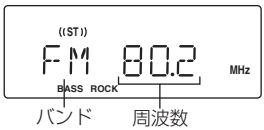
つづく



1 バンドボタンを押してバンドを選ぶ

ボタンを押すと「TUNER」ファンクションに切り換わり、前回聞いていた放送局を受信します。続けて希望のバンドを選びます。

FM ↔ AM



2 |◀◀(同調−)または ▶▶|(同調+)ボタンを押して希望の放送を受信する

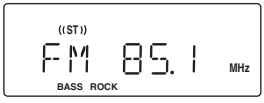
マニュアル(手動)選局

ボタンを短くポンポンとくり返し押します。
FM: 0.1MHzステップで変わります。
(76.00 ～ 90.0MHz)
AM: 9kHzステップで変わります。
(522 ～ 1629kHz)

オート(自動)スキャン選局

ボタンを2秒以上押して、周波数が変わり始めたら指を離します。周波数が自動的に進み、放送を受信すると自動停止します。

- ボタンを押し続けていると停止しません。
- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信して自動停止することがありますが、故障ではありません。

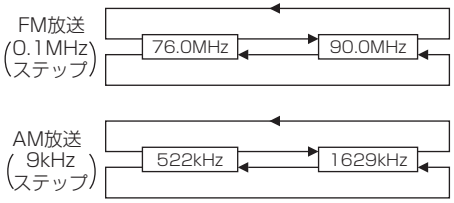


ちょっとこれを!

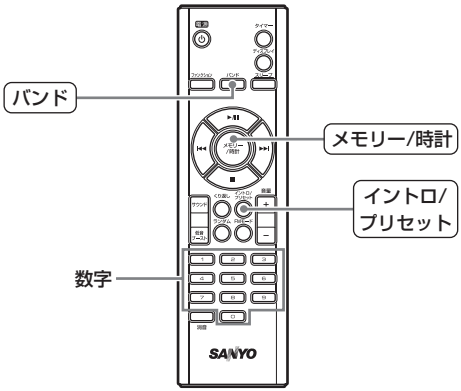
- 選局時、周波数は正しく合わせてください。新聞の番組覧などを利用すると便利です。

周波数は次のように変わります

- 選局中、各バンドの上限、下限に達すると、周波数は各バンドの下限、上限に移ります。



ラジオを聞く

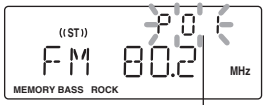


希望局をプリセットする

1 プリセットしたい放送を受信する

2 メモリー/時計ボタンを押す

ディスプレイに「MEMORY」表示が点灯し、プリセット番号が点滅します。

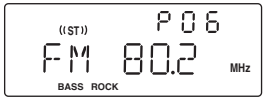


プリセット番号

3 数字ボタンを押して、希望のプリセット番号を選ぶ

■ FM放送を登録するとき:
20局までプリセットできます

例: プリセット番号06を選ぶとき
0→6 の順に押す。
プリセット番号12を選ぶとき
1→2 の順に押す。



■ AM放送を登録するとき:
10局までプリセットできます

例: プリセット番号06を選ぶとき
6 を押す。
プリセット番号10を選ぶとき
0 を押す。

● **イントロ/プリセット**ボタンをくり返し押してプリセット番号を選び、**メモリー/時計**ボタンを押してプリセットすることもできます。

4 FM、AMそれぞれのバンド内で他局をプリセットする場合は、操作1～3を繰り返す

ちょっとこれを!

● すでに放送局がプリセットされているプリセット番号に、新しく放送局をプリセットすると、前の内容は消えます。

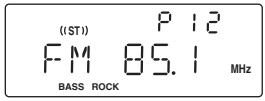
プリセットした放送局を聞く

1 バンドボタンを押してバンドを選ぶ

2 数字ボタンを押して、希望のプリセット番号を選ぶ

■ FM放送を選局するとき:

例: プリセット番号06を選ぶとき
0→6 の順に押す。
プリセット番号12を選ぶとき
1→2 の順に押す。



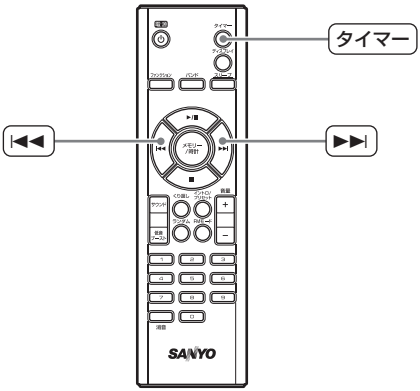
■ AM放送を選局するとき:

例: プリセット番号06を選ぶとき
6 を押す。
プリセット番号10を選ぶとき
0 を押す。

● **イントロ/プリセット**ボタンをくり返し押してプリセット番号を選ぶこともできます。ボタンを短くポンポンとくり返し押します。

タイマーを使う

つづく



おめざめタイマーで音楽を聞く

めざまし時計のかわりにCDまたはラジオを鳴らすことができます。タイマーは一度設定すると、毎日同じ時刻に動作します。

ご注意

- タイマーを設定する前に必ず時計を現在時刻に合わせてください。現在時刻を設定していない場合は、タイマーを設定することはできません。

(例)毎日、朝の7:30から8:15に設定する

最初に現在時刻を確認する

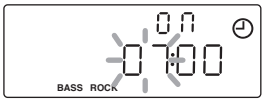
- 現在時刻に誤差があるときは、正しく設定をしなおしてください。(「時計を合わせる」 P12)
- CDを聞くときは、CDを入れる。
- ラジオを聞くときは、希望の放送局をプリセット登録しておきます。

タイマーオンの設定

1 **タイマーボタンを約3秒以上押す**

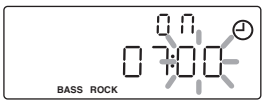
ディスプレイに「ON」と「🕘」表示が点灯し、めざまし開始時刻が表示され、「時」が点滅します。

2 **|◀◀ または ▶▶| ボタン押して、時間を「07」に合わせる**



3 **タイマーボタンを押す**

ディスプレイの「分」表示が点滅します。



4 **|◀◀ または ▶▶| ボタン押して、分を「30」に合わせる**

- 分表示が「59」から「00」になっても、「時」表示は繰りあがりません。

5 **タイマーボタンを押す**

おめざめタイマー開始時刻が設定され、「OFF」とめざまし終了時刻が表示され、「時」が点滅します。

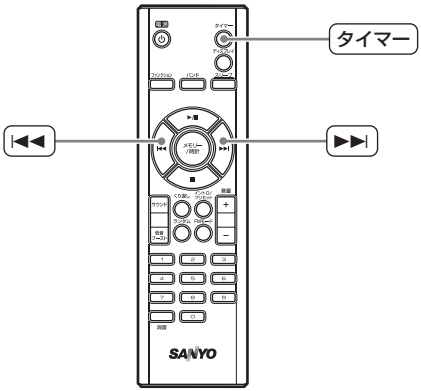
タイマーオフの設定

引き続き終了時刻を設定します。

6 **2〜5と同様の操作をする**

おめざめタイマー終了時刻が「8:15」に設定され、「CD」表示が点滅し、動作ファンクションの選択モードになります。

タイマーを使う

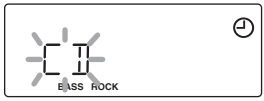


ファンクションの選択

7 動作ファンクションを選ぶ

■ タイマー動作させたいファンクションが「CD」のとき:

1. |◀◀ または ▶▶| ボタンを押して「CD」を選ぶ
   ディスプレイに「CD」表示が点滅します。



2. タイマーボタンを押す
   おめざめタイマー動作ファンクションが「CD」に設定され、「VOL ＊＊」表示が点滅し、音量の設定モードになります。

3. 操作13へ進みます。

■ タイマー動作させたいファンクションが「TUNER」のとき:

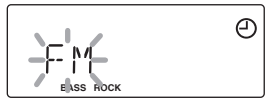
1. |◀◀ または ▶▶| ボタンを押して「TUNER」を選ぶ
   ディスプレイに「TUNER」表示が点滅します。

2. 操作8へ進みます。

バンドとプリセット番号の選択

8 タイマーボタンを押す

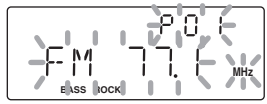
ディスプレイに「FM」表示が点滅し、バンドの選択モードになります。



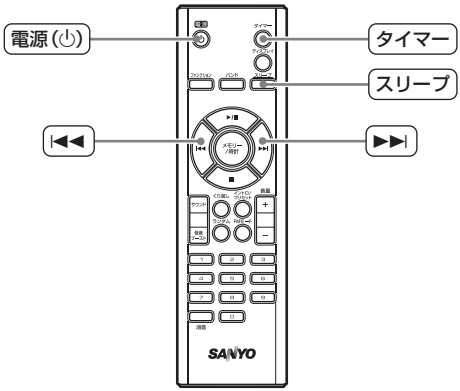
9 |◀◀ または ▶▶| ボタン押して、「FM」または「AM」を選ぶ

10 タイマーボタンを押す

バンドが設定され、プリセット番号の選択モードになります。



11 |◀◀ または ▶▶| ボタン押して、プリセット番号を選ぶ



12 タイマーボタンを押す

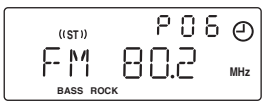
おめざめタイマー動作ファンクションが「TUNER」に設定され、「VOL ＊＊」表示が点滅し、音量の設定モードになります。

音量の設定

13 |◀◀ または ▶▶| ボタン押して、おめざめタイマーを動作させたい音量を選ぶ

14 タイマーボタンを押す

ディスプレイに設定した「ON時刻」、「OFF時刻」、「動作ファンクション」、「音量」を順に表示し、おめざめタイマーが設定され、もとの表示に戻ります。



タイマーの設定

15 電源(⏻)ボタンを押して電源を切る

これでおめざめタイマーの待機状態になります。「🕘」は点灯したままで、現在時刻が表示されます。

- 電源が入っていると、開始時刻になってもおめざめタイマーが動作しません。

ご注意

- 電源が入っていると、設定した時間になってもおめざめタイマーは動作しません。
- 設定の途中で10秒ほど何も操作しないでいると、もとの表示に戻ります。その場合はもう一度はじめから操作しなおしてください。

ちょっとこれを！

- おめざめタイマー開始時刻になると自動的に電源が入り、設定した内容で演奏が始まります。
- おめざめタイマー停止時刻になると電源が切れ、タイマーの待機状態（毎日同じ動作をする）になります。
- おめざめタイマーは解除しない限り、毎日同じ時刻に同じ動作をします。
- おめざめタイマー動作中に**電源**(⏻)ボタンを押すと、電源が切れ、タイマーの待機状態になります。

タイマーを使う

タイマー設定を解除する

電源を入れた状態でタイマーボタンを押す

ディスプレイから「⏲」表示が消え、タイマーは動作しなくなります。もう一度押すとディスプレイに「⏲」表示が点灯して、設定内容(「ON時刻」、「OFF時刻」、「動作ファンクション」、「音量」)を順に表示し、おめざめタイマーが設定されます。

タイマーは解除されない限り、毎日動作します。

タイマーの設定内容を確認する

おめざめタイマー解除中にタイマーボタンを押す

ディスプレイに「⏲」表示が点灯して、設定内容(「ON時刻」、「OFF時刻」、「動作ファンクション」、「音量」)を順に表示し、おめざめタイマーが設定されます。

タイマーを動作させない場合は、もう一度押してタイマー設定を解除してください。

タイマーの時間設定を変更する

P27〜29の**1**〜**14**と同様に操作して、ご希望のタイマー設定に変更してください。

おやすみ(スリープ)タイマーを使う

おやすみ(スリープ)タイマーを設定すると、CDやラジオなどを聞きながらおやすみになれます。

- 電源が切れるまでの時間は90分から10分まで、10分刻みで設定できます。

スリープボタンをくり返し押して、電源が切れるまでの時間を選ぶ

ディスプレイに「ＳＬＥＥＰ」表示が点灯し、「SLEEP 90」が表示されます。

押すたびに、以下のように切り換わります。

90 → 80 →70 → 60 → 50
通常表示 ← 10 ← 20 ← 30 ← 40

ご希望の時間が表示されたところでボタンを押すのをやめます。数秒後、もとの表示に戻り、おやすみタイマーが設定されます。

おやすみタイマーの残り時間を確認する

おやすみタイマー動作中に、スリープボタンを1回押す

ディスプレイに残り時間が表示されます。

おめざめタイマーと組み合わせて使うには

おめざめタイマーの開始時刻に、電源が切れているようにおやすみタイマーを設定する

おやすみタイマーを解除する

スリープボタンを押す

上記操作と同様に、通常表示になるまで、数回押します。

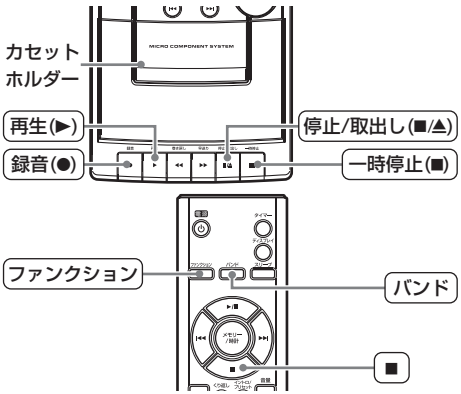
おやすみタイマーの設定を変更する

スリープボタンを押す

上記操作と同様に、ご希望の時間が表示されるまで、数回押します。

カセットテープに録音する

つづく



1 停止/取出し(■/▲)ボタンを押してカセットホルダーを開け、録音用テープを入れる

録音する面を手前に、テープが見える方を下にして入れます。

- 頭切れをなくすため、あらかじめリーダーテープ部を巻き取っておいてください。
- テープの途中から録音するときは、録音を開始する位置までテープを巻き取っておいてください。
- CDシンクロ録音をするときは、音楽CDの演奏時間よりも長めのテープを用意しておきます。

2 カセットホルダーを閉める

カセットホルダーはカチッと音がするまで確実に閉めてください。

3 録音するファンクションを選ぶ

CDを録音するとき(CDシンクロ録音)

ファンクションボタンを押して「CD」ファンクションを選び、CDを入れる。

- 希望の曲から録音するときは、曲番を選んでおきます。P16
- 希望の曲だけを選んで録音するときは、プログラムをしておきます。P18

ラジオを録音するとき

バンドボタンを押してバンドを選び、放送を受信する。P25、26

4 録音(●)ボタンを押す

再生(▶)ボタンも同時にさがり、録音が始まります。

録音を止めるには

停止/取出し(■/▲)ボタンを押す

CDを録音するとき(CDシンクロ録音)

- CDの演奏と録音が同時に始まります。
- CDの演奏中に**録音**(●)ボタンを押すと、演奏中の曲の頭に戻り録音を始めることができます。
- CDの一時停止中に**録音**(●)ボタンを押すと、曲の途中から録音を始めることができます。
- **停止/取出し**(■/▲)ボタンを押すとCD演奏も同時に止まります。
- テープが終端にくると、CD演奏と録音が同時に止まります。
- CD演奏のみを停止するには、■ ボタンを押してください。(テープは録音のままです。)

録音の一時停止

録音中に一時停止(⏸)ボタンを押す

もう一度押すと再び録音が始まります。

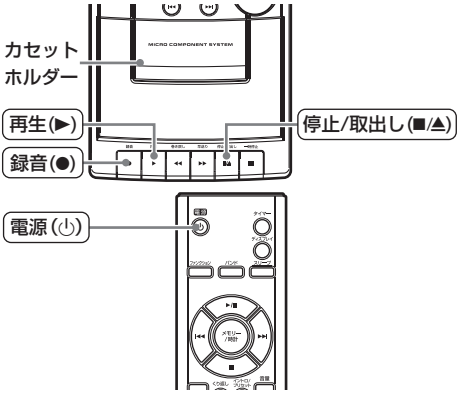
CDを録音しているとき

- テープは一時停止しますが、録音中のCDは一時停止せず、**CDシンクロ録音になりません。**またCDを一時停止させても、テープは一時停止せず、**CDシンクロ録音になりません。**

ちょっとこれを!

- 録音中にテープが終端までくるとテープは自動停止します。
- **自動録音レベル調整について**
  本機には**ALC**(Automatic Level Control:自動録音レベル調整のこと)回路が内蔵されていますので、自動的に適正なレベルで録音されます。
  音量を調整したり、**サウンド**ボタンや**低音ブースト**ボタンで設定を切り換えても録音には影響しません。

カセットテープに録音する



留守録タイマーでラジオを録音する

設定した時刻になると自動的に電源が入り、ラジオを録音します。タイマーは一度設定すると、毎日同じ時刻に動作します。

ご注意

- タイマーを設定する前に必ず時計を現在時刻に合わせてください。現在時刻を設定していない場合は、タイマーを設定することはできません。

最初に現在時刻を確認する

- 現在時刻に誤差があるときは、正しく設定をしなおしてください。(「時計を合わせる」 P12)
- 希望の放送局をプリセット登録しておきます。

1 停止/取出し(■/▲)ボタンを押してカセットホルダーを開け、録音用テープを入れる

録音する面を手前に、テープが見える方を下にして入れます。

- 頭切れをなくすため、あらかじめリーダーテープ部を巻き取っておいてください。
- テープの途中から録音するときは、録音を開始する位置までテープを巻き取っておいてください。

2 カセットホルダーを閉める

カセットホルダーはカチッと音がするまで確実に閉めてください。

3 「おめざめタイマーで音楽を聞く」 P27~29 の操作1~15と同様に設定する

録音を始めるテープ位置で停止させておきます。

4 録音(●)ボタンを押す

再生(▶)ボタンも同時にさがり、録音準備ができました。

開始時刻になると、自動的に電源が入り、設定した周波数でラジオの受信と録音を開始します。
停止時刻になると、電源が切れてラジオと録音を停止し、タイマーの待機状態(毎日同じ動作をする)になります。

留守録タイマー設定後に電源を入れる時は、その前に、必ず停止/取出し(■/▲)ボタンを押して、録音準備状態を解除してください。
再度留守録タイマー準備状態にするには、**電源**(⏻)**ボタン**を押して電源を切り、**録音**(●)ボタンを押します。

ご注意

- 電源が入っていると、設定した時間になっても留守録めタイマーは動作しません。
- 設定の途中で10秒ほど何も操作しないでいると、もとの表示に戻ります。その場合はもう一度はじめから操作しなおしてください。

ちょっとこれを!

- 留守録タイマーは解除しない限り、毎日同じ時刻に同じ動作をします。
- 留守録タイマー動作中に**電源**ボタンを押すと、電源が切れ、タイマーの待機状態になります。

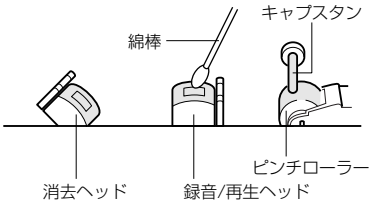
お手入れ

テープヘッド部の清掃

テープを再生または録音すると･･･

- 音が悪い
- きれいに録音できない
- 前の音が残っている
- テープが巻きつく

などの症状がでた場合、その多くはヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキット(またはクリーニングテープ)をお買い求めのうえ、ヘッド部分を清掃してください。清掃はできるだけ早い目(約10時間程度使用ごと)におこなってください。



停止/取出し(■/▲)ボタンを押してカセットホルダーを開け、図に示す□部分をふいてください。

本体のお手入れ

キャビネットや操作パネルのよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

ピックアップ(光学レンズ)の清掃

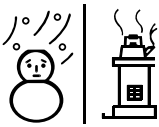
レンズにゴミやほこりが付いて汚れますと、音とびが起きたり、演奏ができなくなる場合があります。ほこりなどは、きれいな空気を吹き付けて除去してください。取りきれない汚れやちり、ほこりが付いた場合は、市販のレンズクリーナーを綿棒につけて軽く拭き取ってください。

ご注意

本機の近くでヘアースプレーや加湿器などを使用しないでください。レンズがくもる原因になります。

露つき(結露)のご注意

周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露(水滴)が発生することがあります。この状態では正常にCDを演奏できないことがあります。このような場合、CDを取り出し、使用される場所で約2時間放置した後、ご使用を開始してください。



故障？ その前にちょっとこれを

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

故　障 ？	原　因	処　置
音がでない	● 電源プラグがはずれている ● スピーカーコードがはずれている ● 音量が小さく設定されている ● ヘッドホンが差し込まれている	● プラグを確実に差し込む ● 確実に差し込む ● 音量を調節する ● ヘッドホンをはずす
CD プレーヤー部		
演奏がはじまらない	● CDが裏返しになっている ● CDが汚れている	● レーベル面を上にして入れる ● 清掃する
音がとぶ	● CDに大きな傷やソリがある ● 振動する場所に設置している ● レンズが汚れている	● CDをとりかえる ● 振動のない場所に設置する ● 清掃する
テープレコーダー部		
カセットが入らない カセットホルダーが閉まらない	● カセットの向きが上下逆さまになっている	● テープの見えている方を下にして入れる
テープが走行しない	● カセットテープの不良	● カセットテープをとりかえる
録音ボタンが押せない	● ツメの折れたカセットを装着している	● 穴をセロハンテープでふさぐ ● カセットテープをとりかえる
AM放送が録音できない	● AMループアンテナが接続されていない	● AMループアンテナを接続する
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	● ヘッド部が汚れている ● ハイポジションやメタルテープを使っている	● 清掃する ● ノーマルテープを使用する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	● 電源雑音の影響を受けている ● モーター、蛍光灯などの電気器具、携帯電話、テレビによる雑音の影響を受けている	● 電源コードを差し替える ● 本機を雑音源から離す ● テレビを消す ● アンテナを調節する
その他		
リモコンで操作できない	● 乾電池が消耗している ● リモコンと本体の間にしゃへい物がある	● 乾電池を交換する ● リモコンで操作する位置をかえる
タイマーが動作しない	● 本体の電源が入っている ● 電源プラグがはずれている ● 停電などで時計が止まっている ● 時刻設定を誤っている	● 電源を切る ● プラグを確実に差し込む ● 時計を合わせる ● 正しく設定する

お願い

- **操作を受けつけないときは、本体のファンクションボタンとメモリー/時計ボタンを同時に押してリセットしてください。リセット後は、時計、ラジオのプリセットメモリーも初期化されます。**
- **長時間使用していますと、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。**

保証書とアフターサービス

保証書[裏表紙にあります]について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、「無料修理規定」 P43 をよくお読みください。

修理サービスについて

ご使用中に本機の調子が悪くなったときは「故障？その前にちょっとこれを」 P34 の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中の修理は
  保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- あらかじめご了承いただきたいこと
  「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。

補修用性能部品の保有期間について

マイクロコンポーネントシステムの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店か、お近くの「お客さまご相談窓口」 P36～39 にお問い合わせください。

- 転居される場合は
  ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合には、事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答の場合は
  最寄りの三洋販売店か、または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

必ずお読みください

本機の使用中、本機やカセットテープの不具合による録音の失敗および録音内容（データ）の損失を防ぐために

1. 録音前には必ず試し録音をしてください。

2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。

本機やカセットテープ使用中の不具合による録音内容（データ）損失や録音機会損失などの補償、また本機が使えなかったことによる付随的損害の補償については、その責任を負いかねますのでご容赦ください。

また、修理の際にデータ消去を伴う事故が発生した場合の補償についても、その責任を負いかねますのでご容赦ください。

アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください

① **品番：　DC-DA84**
② **購入時期**
③ **症状：　できるだけ詳しく**

参考

お客さまご相談窓口

■ まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談 <三洋電機株式会社 お客さまセンター>

受付時間：(365 日) 9:00 ～ 18:30

総合相談窓口	050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は**大阪(06)-6994-9570**へおかけください。
※ 郵便またはFAXでご相談される場合
三洋電機株式会社 お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX:大阪(06)-6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日 ～ 金曜日 9:00 ～18:30
(7月 ～ 8月) 8:45 ～19:30
土曜･日曜･祝日･当社休日 9:00 ～17:30

修理相談窓口				
東京コールセンター (050-がご利用できない場合は、東京03-5302-3401へおかけください)		北海道地区		050-3116-2333
		東北地区		050-3116-2444
		関東･甲信越地区		050-3116-2222
大阪コールセンター (050-がご利用できない場合は、大阪06-4250-8400へおかけください)		近畿地区		050-3116-2555
		中部･北陸地区	北陸	050-3116-2555
			中部	050-3116-2666 沼津地区は、 050-3116-2222
		中国･四国地区	中国	050-3116-2777
			四国	050-3116-2555
		九州地区		050-3116-2888

沖縄地区	098-944-5018

(※)沖縄地区の受付時間:月曜日～土曜日 9:00 ～17:30
(日曜、祝日及び当社休日を除く)

持込み修理および部品についてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日～土曜日 9:00 ～17:30 (日曜、祝日、当社休日を除く)

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点(サービスセンター、サービスステーション)で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

■ 上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

つづく

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。

また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

< 利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

< 業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細はホームページ http://jp.sanyo.com をご覧ください。

持込み修理および部品についてのご相談　　**三洋電機サービス株式会社**

北 海 道 地 区

北海道	札幌サービスセンター	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
	旭川サービスステーション	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
	函館サービスステーション	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
	釧路サービスステーション	(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6
	北見サービスステーション	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14

東 北 地 区

青森県	青森サービスステーション	(017)729-3401	〒030-0141	青森市大字上野字山辺29-5
岩手県	盛岡サービスセンター	(019)623-1600	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-6
宮城県	仙台サービスセンター	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
秋田県	秋田サービスステーション	(018)862-6551	〒011-0901	秋田市寺内イサノ93-1
山形県	山形サービスステーション	(023)641-1769	〒990-2331	山形市飯田西4-5-35
福島県	郡山サービスステーション	(024)945-6793	〒963-0107	郡山市安積3-120

関 東 ・ 甲 信 越 地 区

茨城県	水戸サービスステーション	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
	つくばサービスステーション	(029)864-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
栃木県	宇都宮サービスステーション	(028)684-2551	〒321-0151	宇都宮市西川田町53-1
群馬県	高崎サービスステーション	(027)362-1151	〒370-0004	高崎市井野町338-1
	大泉サービスステーション	(0276)63-4401	〒370-0524	邑楽郡大泉町古海541-9
埼玉県	さいたまサービスセンター	(048)778-3095	〒362-0025	上尾市上尾下780-1
	坂戸サービスステーション	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17
千葉県	千葉サービスセンター	(043)208-3800	〒260-0842	千葉市中央区南町3-7-15
	鎌ヶ谷サービスステーション	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59

お客さまご相談窓口

東京都	武蔵野サービスセンター	(042)364-7721	〒183-0033	府中市分梅町5-9-1
	城東サービスステーション	(03)5697-8160	〒120-0005	足立区綾瀬7-22-15 綾瀬7丁目ビル
	城北サービスステーション	(03)5914-3413	〒174-0051	板橋区小豆沢(アズサワ) 1-23-10
	城西サービスステーション	(03)5347-0761	〒167-0032	杉並区天沼3-12-12 テック杉並
	相模原サービスステーション	(042)788-2760	〒194-0012	町田市金森851-3
神奈川県	横浜サービスセンター	(045)827-2831	〒244-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
	京浜サービスステーション	(044)740-3530	〒211-0041	川崎市中原区下小田中5-11-21
	平塚サービスステーション	(0463)55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮3-20-60
新潟県	新潟サービスセンター	(025)285-2431	〒950-0951	新潟市中央区鳥屋野187-19
	長岡サービスステーション	(0258)46-8065	〒940-2127	長岡市新産2-8-6

中部・北陸地区

山梨県	甲府サービスステーション	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23
富山県	富山サービスステーション	(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8
石川県	金沢サービスセンター	(076)235-3310	〒920-0025	金沢市駅西本町6-6-13
福井県	福井サービスステーション	(0776)53-7134	〒910-0834	福井市丸山1-1002
長野県	松本サービスステーション	(0263)40-3411	〒390-0852	松本市島立1064-1
岐阜県	岐阜サービスステーション	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡県	静岡サービスセンター	(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
	沼津サービスステーション	(055)935-0501	〒410-0822	沼津市下香貫七面1152-2
	浜松サービスステーション	(053)461-8685	〒430-0812	浜松市南区本郷町123
愛知県	名古屋サービスセンター	(052)485-3620	〒453-0816	名古屋市中村区京田町2-1
	岡崎サービスステーション	(0564)23-3418	〒444-0009	岡崎市小呂町字2-30
三重県	津サービスステーション	(059)236-5195	〒514-0111	津市一身田平野285-2

近畿地区

滋賀県	滋賀サービスステーション	(077)514-2221	〒524-0021	守山市吉身4-1-24 南井産業第3ビルB棟
京都府	京都サービスセンター	(075)672-0877	〒601-8135	京都市南区上鳥羽石橋町8 NTTコミュニケーションズ京都南ビル
	福知山サービスステーション	(0773)24-3405	〒620-0062	福知山市和久市町290 和久市岩堀ビル2階
大阪府	大阪サービスセンター	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
	大阪南サービスステーション	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
	大阪東サービスステーション	(072)965-1811	〒578-0903	東大阪市今米2-3-29
	阪和サービスステーション	(072)258-5001	〒591-8025	堺市北区長曽根町3068-5
兵庫県	神戸サービスセンター	(078)651-3951	〒652-0813	神戸市兵庫区兵庫町2-2-18
	阪神サービスステーション	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
	姫路サービスステーション	(079)282-7892	〒670-0943	姫路市市之郷町1-9
	淡路サービスステーション	(0799)42-6015	〒656-0478	南あわじ市市福永536-1
奈良県	奈良サービスステーション	(0744)22-7888	〒634-0817	橿原市寺田町113-1
和歌山県	和歌山サービスステーション	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山市岩橋1636-1

中 国 地 区

鳥取県	鳥取サービスステーション	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
島根県	松江サービスステーション	(0852)23-1183	〒690-0044	松江市浜乃木2-15-3
岡山県	岡山サービスセンター	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
広島県	広島サービスセンター	(082)279-0170	〒733-0833	広島市西区商工センター4-9-9 協和ビル
	福山サービスステーション	(084)954-4101	〒721-0952	福山市曙町4-22-10
山口県	山口サービスステーション	(083)973-3391	〒754-0024	山口市小郡若草町2-6

四 国 地 区

徳島県	徳島サービスステーション	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町 笹木野字八北開拓189-1
香川県	高松サービスセンター	(087)843-1840	〒761-0101	高松市春日町字片田1657-1
愛媛県	松山サービスステーション	(089)979-3486	〒799-2655	松山市馬木町2057
	四国中央サービスステーション	(0896)23-3416	〒799-0404	四国中央市三島宮川2-732-4
高知県	高知サービスステーション	(088)885-3411	〒781-8121	高知市葛島2-8-9

九 州 地 区

福岡県	福岡サービスセンター	(092)441-2541	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南4-6-23
	北九州サービスステーション	(093)521-5286	〒802-0004	北九州市小倉北区鍛冶町2-4-7
	久留米サービスステーション	(0942)37-3934	〒830-0038	久留米市西町105-18
長崎県	長崎サービスステーション	(095)813-3545	〒851-0101	長崎市古賀町1006-5
	佐世保サービスステーション	(0956)31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1
熊本県	熊本サービスセンター	(096)388-3434	〒861-8045	熊本市小山3-2-11 熊本トラックターミナル内
大分県	大分サービスステーション	(097)543-3454	〒870-0829	大分市椎迫5-6
宮崎県	宮崎サービスステーション	(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎市大橋3-224
鹿児島県	鹿児島サービスステーション	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町12-14

沖 縄 地 区

沖縄県	沖縄三洋販売株式会社サービス部	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

(110509S)

☆ 住所･電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

仕様

CD プレーヤー部

チャンネル数	2 チャンネル ステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz
ピックアップ	半導体レーザー（波長 790nm）
周波数範囲	20～20,000Hz

テープレコーダー部

トラック方式	4 トラック、2 チャンネル ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	マグネット消去
早送り・巻き戻し時間	約150 秒 (C-60)
周波数範囲	80～15,000Hz

ラジオ部

受信周波数	AM：522～1,629kHz FM：76～90MHz

共通部

出力	4W + 4W(JEITA/AC)
入力端子	外部入力端子
出力端子	SPEAKERS 端子（スピーカー） 4Ω ヘッドホン端子（ステレオミニジャック）
電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	20W (待機消費電力 約0.6W)
外形寸法	140(幅)×210(高さ)×210(奥行)mm
質量	約2.0kg
付属品	AMループアンテナ、FM用簡易型アンテナ、リモコン、 単4形乾電池×2(リモコン用)、スピーカー×2、取扱説明書（保証書付）

スピーカーシステム部

形式	バスレフ型
ユニット	フルレンジ コーン型
フロントネット	固定式
最大許容入力	8W(ピーク時)
公称インピーダンス	4Ω
外形寸法(1本)	125(幅)×210(高さ)×170(奥行)mm
質量(1本)	約1.1kg

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

MEMO

MEMO

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」P35をご覧ください。

総合相談窓口

家電製品についての全般的なご相談は、下記の「総合相談窓口」へお問い合わせください。

相談受付時間
(365日) 9:00～18:30
総合相談窓口
050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は、
大阪(06)6994-9570におかけください。

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または36～39ページのお客さま修理相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検

長年ご使用の機器の点検を ！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

8651DA84JPG01
(JP1)

三洋電機株式会社
三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
家電事業部
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号